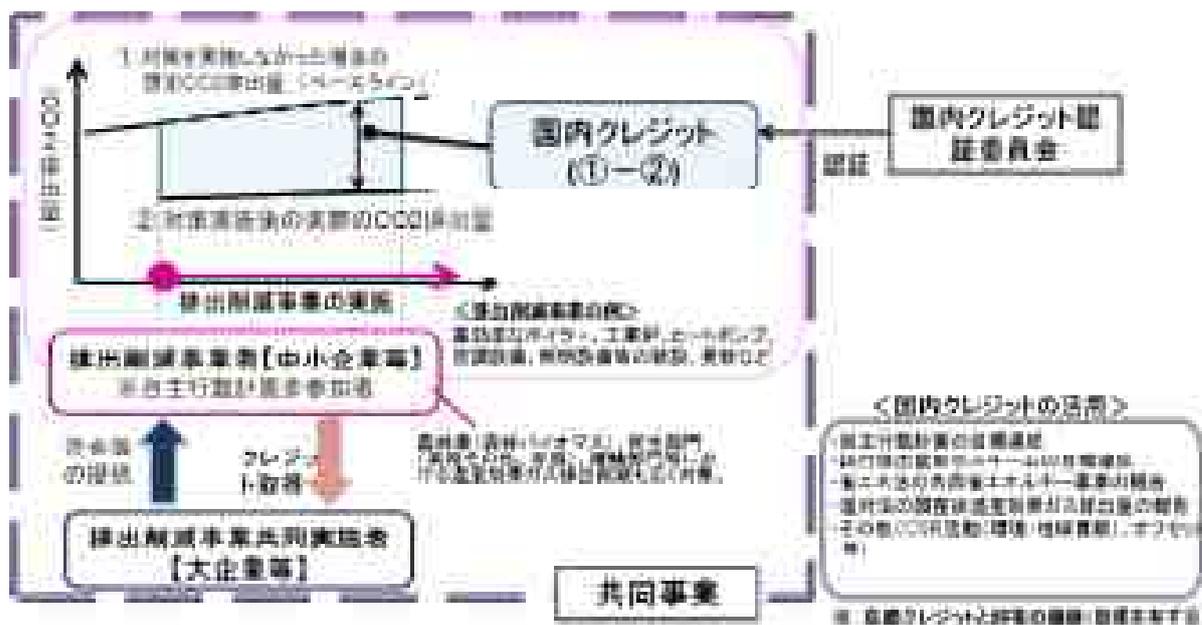


(参考2)

国内クレジット制度について

国内クレジット制度は、大企業等による技術・資金等の提供を通じて、中小企業、農林水産業、民生部門（業務・家庭）、運輸部門等が行った温室効果ガス排出削減量を国内クレジットとして認証し、自主行動計画の目標達成等のために活用できる制度。

制度開始以来、2013年2月までに提出された排出削減事業計画は、累計で1,638件（うち、事業計画が承認されたものが1,267件、クレジット認証に至ったものが1,186件）に上り、2012年度末までに見込まれる温室効果ガスの削減見込み量は約196万トン（これまでに認証された国内クレジットは、累計で約65.2万t-CO₂）となっている。



J-VER制度について

カーボン・オフセット（自らの排出量を他の場所の削減量（クレジット等）で埋め合わせて相殺すること。）の仕組みを活用して、国内における排出削減・吸収を一層促進するため、国内で実施されるプロジェクトによる削減・吸収量を、オフセット用クレジット（J-VER）として認証する制度。（「J-VER」＝「Japan-Verified emission reduction」）

2013年2月時点で、J-VER制度に登録されているプロジェクトの件数は累計246件。このうち233件のプロジェクトについてオフセット・クレジット（J-VER）の認証が行われており、累計認証クレジット量は36万t-CO₂となっている。

